

(5) 水環境目標の設定

横浜の魅力ある水環境を保全・創造するには、施策の効果などを評価し、その状況を踏まえて施策を見直す必要があります。そこで、水環境の目指すべき目安として、水域※ごとに定める「達成目標」と「補助目標」、また、市内全水域に定める「全水域の一律達成目標」からなる「水環境目標」を設定します。その達成状況を82か所の評価地点で評価し、潤いある環境を目指します。

※水域は、利用ニーズや特性に応じて、河川を6区分（「ⅠA」・「ⅠB」・「ⅡA」・「ⅡB」・「ⅡC」・「Ⅲ」）、また、海を4区分（「Ⅰ」・「Ⅱ」・「Ⅲ」・「Ⅳ」）に分類します。

① 達成目標と補助目標

達成目標は、水域区分ごとに達成すべき目標であり、「生物指標による水質評価」と「水質目標（BOD、COD、ふん便性大腸菌群数、窒素、リン）」について定めます。また、補助目標として「水深」、「流速」、「川床（底質）状況と美観」、「周辺環境」について、水域の利用ニーズなどから実現されることが望ましい目安を定めます。

② 全水域の一律達成目標

環境基本法に定める「人の健康の保護に関する環境基準」と「生活環境の保全に関する環境基準（達成目標に定める項目を除く）」を全水域で一律に達成すべき目標とします。なお、環境基準については、随時見直しが行われるので、最新の基準値を目標とします。

■水域区分一覧表

河川

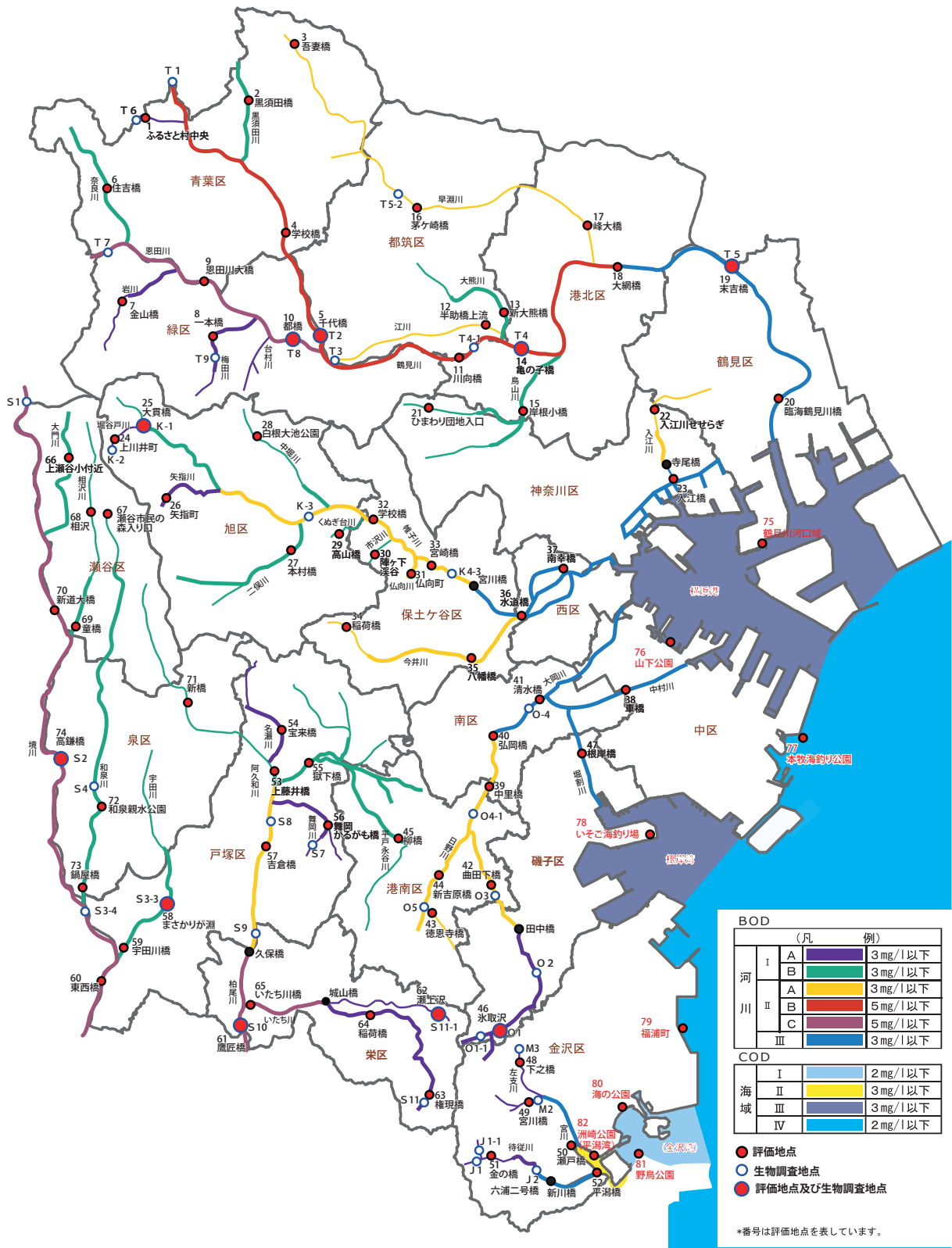
区分	水系	水域	
Ⅰ	A	鶴見川	寺家川 岩川 梅田川・台村川
		帷子川	堀谷戸川 矢指川
		大岡川	大岡川（田中橋より上流）
		宮川	宮川（宮川橋より上流、左支川）
		侍従川	侍従川（六浦二号橋より上流）
	B	柏尾川	名瀬川 舞岡川 いたち川（城山橋より上流）
		鶴見川	黒須田川 大熊川 鳥山川
		帷子川	帷子川（矢指川合流点より上流） 二俣川 中堀川 市沢川 くぬぎ台川
		柏尾川	阿久和川 平戸永谷川
		境川	相沢川 和泉川 宇田川

区分	水系	水域	
Ⅱ	A	江川	江川 早淵川
		入江川	入江川（寺尾橋より上流）
		帷子川	帷子川（矢指川合流点より宮川橋まで） 今井川
	B	大岡川	大岡川（田中橋から弘岡橋まで） 日野川
		柏尾川	柏尾川（平戸永谷合流点より久保橋まで）
		鶴見川	鶴見川（市境より大綱橋まで）
Ⅱ	C	鶴見川	恩田川（市境より下流、鶴見川本川合流まで）
		柏尾川	柏尾川（久保橋から市境まで） いたち川（城山橋より下流）
Ⅲ	境川	境川（市域全川）	
	鶴見川	鶴見川（大綱橋より下流）	
	入江川	入江川（寺尾橋より下流）	
	帷子川	帷子川（宮川橋より下流）	
	大岡川	大岡川（弘岡橋より下流）	
	宮川	宮川（宮川橋より下流）	
	侍従川	侍従川（六浦二号橋より下流）	

海域

区分	水域
Ⅰ	金沢湾
Ⅱ	平潟湾
Ⅲ	鶴見川河口先海域
	横浜港（内湾） 根岸湾
Ⅳ	上記の海域の外海で横浜市に関連する水域

■水環境目標の水域区分図



■水環境目標（達成目標及び補助目標・河川）

水域区分	目標イメージ	達成目標			補助目標			
		生物指標による水質評価	BOD	ふん便性大腸菌群数	水深*1	流速*1	川床状況と美観	周辺環境
I	A 豊かな緑に囲まれた自然のせせらぎ 	「源流・上流域」の“大変きれいな” 	3mg/L以下	1,000個/100ml以下	5~15 (10) cm*2		自然河床の保全・ごみのないこと	自然環境の保全を重視し、自然生態系の保全を図るとともに、澄んだせせらぎの復元に努める。
	B 魚とりが楽しめるのどかな小川 	 					自然河床の復元・ごみのないこと	河川の自然環境の復元や周辺農地等も含めた生物生息環境の復元に努めるとともに親水性に配慮する。
II	A 水遊びが楽しめる澄んだ流れ 	「中流～下流域」の“大変きれいな”  	5mg/L以下	-	10~30 (20) cm*2	30 cm/s程度	ごみのないこと	親水性の向上を図ることができる拠点を設置する等、市民にとっての身近な憩いの場として、うるおいのある水辺空間の整備に努めるとともに、生物生息環境にも可能な限り配慮する。
	B 多様な利用ができる豊かな流れ 	「中流～下流域」の“きれいな”  						川幅や周辺空間に余裕のあるこの水域においては、豊かな流れと河川敷や沿川遊歩道を生かした水遊び、自然観察等、多様なレクリエーション利用が可能な水辺空間の整備に努める。
	C 散歩が楽しめる、ゆるやかな流れにうるおいを感じる川 							河川としては中規模にあたるこの水域においては、うるおいのある水の存在を感じられるよう、遊歩道の整備に努める。
III	ボート遊びができ魚影が行きかう広がりのある流れ 	「感潮域」の“きれいな”   	3mg/L以下	-	-	-	ヘドロの堆積がないこと	運河も含めたこの水域においては、緑化を中心とした修景性を重視し、町の中のあるおいのある水辺空間の整備に努める。

■水環境目標（達成目標及び補助目標・海域）

水域区分	目標イメージ	達成目標				補助目標	
		生物指標による水質評価	COD	窒素・リン	ふん便性大腸菌群数	底質状況と美観	周辺環境
I	海水浴や潮干狩りが楽しめるような海辺 	「内湾」の“きれい” 「干潟」の“きれい”  シロギス  クサフグ	2mg/l以下	T-N 0.3mg/l以下 T-P 0.03mg/l以下	100個/100ml以下	ごみが散乱していないこと	砂浜の保全、後背緑地の保全・復元等の生態系の保全を重視し同時に海浜レクリエーション等の親水性にも配慮する。
II	釣りやウォーキング等、多様な利用ができる活気のある海辺 	「干潟」の“きれい” 「内湾」の“きれい”  ビリンゴ  ミミズハゼ	3mg/l以下	T-N 0.6mg/l以下 T-P 0.05mg/l以下	-		底質の改善等、閉鎖性海域の環境の改善や干潟の保全に努め、プロムナードや親水公園の整備等、親水機能の改善に配慮する。
III	港情緒を味わうことができる海辺 	「岸壁」の“きれい” 「内湾」の“きれい”  ヨロイソギンチャク  クサフグ	3mg/l以下	T-N 1.0mg/l以下 T-P 0.09mg/l以下	-	ヘドロが堆積していないこと	湾や湾内に位置する波の穏やかなこの水域においては、親水性と修景性の両面を重視し、臨海公園における水辺への親しみやすさの創出とともに、うるおいのある海辺景観づくりに努める。
IV	釣りや海洋性レクリエーションを楽しめる海辺 	「岸壁」の“きれい” 「内湾」の“きれい”  シロギス  マアジ	2mg/l以下	T-N 0.3mg/l以下 T-P 0.03mg/l以下	-	ごみが浮いていないこと	この沿岸水域においては、生物生息環境と眺望へ配慮し、海釣り施設やマリーナの整備に努める。

(注) 水域区分の対応は、以下のとおり

河川	海域
I 「源流～上流域」	I 「砂浜域」
II 「中流～下流域」	II 「干潟域」
III 「感潮域」	III 「港湾域」
	IV 「その他の沿岸域」

*1 水深・流速の補助目標値は、「晴天時の平均的な値」とする。

*2 水深の補助目標欄の（ ）内の数値は、代表的な値である。